

「寺院コーヒーが若者の間で人気に」

洲澤 輝

中国では年齢を問わず常日頃からコーヒーがよく飲まれています。また、上海市にはカフェが 8,000 店舗あり、スターバックスも昨年、1,000 店舗を超えました。都市別で見ると、カフェ店舗数は世界一です。そんな中国ですが、最近は若者の間で変わったブームが起こっています。それは「寺院コーヒー」です。「寺院コーヒー」とはその名の通り、お寺の中や付近で販売されているコーヒーのことを言います。聞き慣れない言葉に違和感があるかもしれませんが、ニュースサイトで取り上げられたり、小紅書（RED）などの SNS で盛り上がったりしています。なぜ若者は寺院コーヒーを好んでいるのか、その理由を考えてみました。

理由①：斬新さでインパクト大

伝統的な寺院文化と現代コーヒー文化の融合による独特な異空間でコーヒーが提供されており、その雰囲気若者の興味の対象となっている。

理由②：若者が求めるスローライフや禅への憧れ

ハイスピードな生活リズムと現代のストレス社会において、若者は様々な悩みや問題に直面しており、日頃から心が落ち着く場所や方法を探している。ゆったりとした時間が流れる寺院で芳醇なコーヒーを味わうことにより、心に安らぎと喜びを感じることができる。

理由③：仏教要素を取り入れたコーヒー

多くの寺院カフェでは、カカオパウダーを使用してコーヒーアートで「禅」の文字を書いたり、「心想事成（＝願いが叶う）」と書かれたストローを付けるなど、提供するコーヒーに仏教要素を取り入れている。若者はこれらのサービスに温かみを感じ、仏様のご加護を受けているような気分になる。

上海在住の多くの若者は仕事のストレスに加え、子育てや金銭面など生活のストレスも重くのしかかっています。また、人や車、バイクの多さや自然の少なさなどの生活環境によるストレスも存在しています。そんな彼らにとって、寺院は新たなリラックスできる場所として認知され始めているようです。

＜上海の寺院カフェに行く＞

先日、地下鉄 12 号線「龍華駅」横の龍華寺にある寺院カフェに実際に行ってきました。そこには、「龍華仏茶」という茶館があり、ここで寺院コーヒーを購

入できます。寺院の中はとても静かで、にぎやかな上海とは異なる雰囲気があります。コーヒーは 1 杯 18 元（約 348 円＝1 元 19 円）、カップには「龍華古寺」の文字と寺院のイラストが描かれています。SNS には、寺院を背景に、寺院コーヒーを片手にカップのイラストが見えるようにした写真が多くアップされています。また、「龍華寺」でしか購入できない真っ赤で SNS 映えする限定ボトルも販売されています。



【龍華寺の入口】



【寺院コーヒー】



【限定ボトル】



【精進料理の麺（参照：大衆点評）】

茶館では、BGM にお経が流れていて、コーヒー以外にも、肉や魚などを用いない精進料理も販売されています。周囲を見渡すと、たくさんの人が精進料理の麺を食べていました。「龍華寺」の麺料理は特に有名で、麺を食べることを目的として来ている人も多いようです。今後は、このような身体に優しい精進料理も、若者の間で流行するのではないかと思います。